

第 46 回独立行政法人国民生活センター契約監視委員会会議事概要

開催日	令和元年 12 月 3 日（火）	
場所	独立行政法人国民生活センター東京事務所 5 階特別会議室	
出席委員氏名	委員長 鈴木 幸弘（独立行政法人国民生活センター監事） 委員 有川 博（日本大学総合科学研究所教授） 委員 山内 容（弁護士） 委員 竹内 啓博（公認会計士・税理士） 委員 岩田 三代（独立行政法人国民生活センター監事）	
抽出案件	4 件	（備考） ・事務局から、今回の審議対象の契約件数等について報告した。 ・岩田委員から、第 2 四半期の契約の状況を踏まえ、一者応札・一者応募かつ落札率 90%超の契約、一者応札・一者応募の契約、落札率 90%超の契約について審議対象とした旨報告した。
（内訳）		
一般競争入札	3 件	
公募	1 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	令和元年度第 2 四半期に契約締結した抽出案件および検証結果の審議内容は、別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

意見・質問	回 答
<p>【事案1】2019年度全国消費者フォーラム会場等の提供</p> <p>・事前確認公募を実施して随意契約を締結した契約については、その情報を公表すべきではないか。新規参入を希望する企業等からの連絡があった場合、当該企業等が応札又は応募可能と認められれば、次回以降の契約については一般競争入札又は企画競争に移行すべきではないか。</p>	<p>・財務省通達において定められた指針に基づき公募を実施し、結果を公表しているところ。次回契約の際には、さらに他業者の情報（会場数、面積、価格）を積極的に収集し、現業者と比較検討することとする。</p>
<p>【事案2】全国消費生活情報ネットワークシステム（PIO-NET）の刷新に関するプロジェクト管理支援等業務一式</p> <p>・予定価格の参考となる見積りを提出した者が入札に参加しない場合は、その理由を明確にしておくべき。</p>	<p>・御指摘の点を踏まえできる限り理由を収集することとしたい。</p>
<p>【事案3】PC-LANシステムに係るサーバ等の構築及び保守・運用支援等業務一式</p> <p>・1者応札となった要因は何か。</p>	<p>・不参加の業者から、人員確保が困難等の説明を受けているところ。</p>
<p>【事案4】2019年度消費生活相談員資格試験第1次試験・第2次試験 試験問題等の輸送等業務一式</p> <p>・説明会への参加を必須要件としている理由は何か。</p>	<p>・試験問題の輸送業務であることから、直接当事者に対して説明を行い、事前に仕様を十分に理解いただくためである。</p>